

第2回青森県特別支援学校総合スポーツ大会 ボッチャ競技

カラーボール各スローイングボックスに2球ずつセット
(ジャックボールはセンタークロスへセット)

選手入場

各コートスローイングボックスに入る

各チームのキャプテン(キャプテンマーク)を確認

全ての準備が出来次第、各コート審判は「谷底」へ

審判長「スタート ウォームアップ」をコール

各コート審判「練習、始めてください」※正式には「ウォームアッププリーズ」

2分、または全てのボールが投球された時点で「ウォームアップ終了」

各コート審判ジャックボールを拾い上げ「ボールを回収してください」で

カラーボールをそれぞれのスローイングボックスへ

試合開始の準備が全て整ったのを確認して審判はジャックボールを持って
クロスへ

全てのコートで審判がクロスに立ったことを確認して、審判長「スタート ザ
マッチーズ」各コート審判ジャックボールを投げる選手の元へ歩み寄り
ジャックボールを手渡す。

各コート審判コートの外の定位置立って

「ジャックプリーズ」 ※「ジャック」「ジャックボールプリーズ」もあり
審判の個性があっていい所です。

ここまで各コートとも同時進行です。

この後は「マッチフィニッシュ」まで各コートごとの進行になります。

1 エンド終了時

得点が選手側から見てどちらが勝ったか、何点だったかが容易に判断できる
場合、審判はパドルと指を使って得点をコール。

判断が難しい場合はジャックボール付近に選手を集め審判が具体的に説明をし
選手全員(本来は各チームのキャプテン)に納得して貰う。

選手をスローイングボックスに帰し、審判がジャックボールを拾い上げ

「ワンミニット」続けて「ボールの回収をお願いします」でボール担当者が
ボールを拾い集め、各スローイングボックスへ返す。

この間各チームのコーチはスローイングボックスの選手たちと
コミュニケーションが許される。

4 5 秒経過後、計時から「フィフティーンセカンズ」のコール。残り 1 5 秒で第 2 エンドが開始となるためコーチは自席へ戻らなければならない。

審判は各ボックスのカラーボールを確認、その他準備が整った事を確認しジャックボールを投げる選手にジャックボールを渡し、定位置へ移動し「ジャックプリーズ」

この後は 1 エンドと同様。

第 2 エンド終了時

得点を判定しコールする。

* 本来のルールであれば 「ファイナルスコア」「勝った方の点数と色、負けた方の点数と色」

(例えば青チームが 3 対 2 で勝った場合)「スリーポイント フォー ブルー、ツーポイント フォー レッド」となります。* 勝った方を先にコール。例えば「ウィナーブルー」等はいません。また負けた方が 0 点だった場合は、全くコールしません。例えば赤 2 点、青 0 点だった場合「ファイナルスコア ツーポイント フォー レッド」で終わりです。

ので、

この大会ではごくごく誰でも分かるように「ファイナルスコア 赤チーム 2 点、青チーム 3 点で青チームの勝ちです」「マッチフィニッシュ」

そして隣の選手同士で「ありがとうございました」握手等出来れば良いのですが、感染症対策としては挨拶だけかな？

そして両チーム退場。

スタート時は同時進行ですが終了はタイブレークがあつたりなかったりでバラバラになります。

全てのコートが空いて次の準備が出来たら次の試合の選手が入場します。

最後に要望が一つあります。

団体戦で 2 エンド制の場合

第 1 エンド、ボックス 1 の選手がジャックボールを投げると (以降実技で)

よって、1 エンドは BOX3 の選手、2 エンドは BOX4 の選手がジャックボールを投げるのがベストと思います。